
平成30年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成30年2月28日

質問者（質問順）

- 1 伊波俊之助 委員（自民党）
- 2 渡邊忠則 委員（自民党）
- 3 大岩真善和 委員（民進党）
- 4 安西英俊 委員（公明党）
- 5 白井正子 委員（共産党）

都市整備局

局 另 し 審 査

1 伊 波 俊之助 委員（自民党）

1 平成30年度都市整備局予算について

（1）平成30年度の予算編成の考え方について伺いたい。

2 都心臨海部のまちづくりについて

（1）教育文化センター跡地公募で、応募4件に対する所感について伺いたい。

（2）教育文化センター跡地の事業予定者選定にあたり、重視している点について伺いたい。

（3）来年度、現市庁舎街区の公募を行うにあたっての意気込みについて伺いたい。

（4）基盤整備にかかる具体的な検討内容について伺いたい。

（5）関内・関外地区全体の活性化に向けた意気込みについて副市長に伺いたい。

（6）みなとみらい21地区の街区開発に対するこれまでの評価と今後の方向性について伺いたい。

（7）横浜駅西口駅前広場整備の方向性について伺いたい。

（8）横浜駅東口にエスカレーターを設置する狙いについて伺いたい。

（9）東高島駅北地区の30年度の取組について伺いたい。

（10）ベイバイクのアンケート調査の結果概要について伺いたい。

（11）ベイバイクの今後の事業展開について伺いたい。

3 大岡川の水辺利活用について

（1）桟橋利活用の社会実験に対する市の評価について伺いたい。

（2）桟橋周辺でまちづくりを一体的に行う効果について伺いたい。

（3）今後の水辺の利活用の充実に向けた取組について伺いたい。

（要望）河川は、新たな賑わいや魅力を生み出す効果的な資源であり、この日ノ出桟橋・桜桟橋の取組が実証していると思う。神奈川県との協議も早期実現の場となるよう地域は期待している。さらには、災害時に物資輸送の拠点とす

るなど、防災面で活用するアイデアもあると思う。多様な視点で水辺利活用に総合的に取組むよう要望する。

4 まちを楽しむ多彩な交通の充実について

(1) 公募における民間企業などからの提案内容について伺いたい。

(2) 提案実現に向けた、今後の進め方について伺いたい。

(要望) 都心臨海部における様々なプロジェクトとこの多彩な交通モードの導入を連携させて進めることができ大変重要と考えるので、是非、しっかりと取り組み、横浜の魅力を高めるよう要望する。

5 都市再生緊急整備地域について

(1) 制度概要と効果について伺いたい。

(2) 指定状況と実績について伺いたい。

(3) 関内・関外地区にも拡大していくことが必要と考えるが、見解について伺いたい。

(4) 都心臨海部全体の活性化に向けたまちづくりの決意について副市長に伺いたい。

(要望) 様々な制度を活用しながら、横浜ならではの都心臨海部のプロジェクトを総合的に進め、人や企業が集い活力を生み出す都市を実現していくことを要望する。

2 渡 邊 忠 則 委員（自民党）

1 新たな中期計画を見据えた、都市整備局の平成30年度予算における主な取組について

（1）新たに中期計画を見据えた、都市整備局の平成30年度予算における主な取組について伺いたい。

2 京浜臨海部再編整備マスタープラン改定について

（1）今回のプランの改定のポイントについて伺いたい。

（2）重点的に取組む地区を選定し、立地企業にとって具体的なプロジェクトを進めやすいプランとしていくことが重要と考えるが見解について伺いたい。

（3）末広町地区では、今後、具体的にどのような取組を進めていくのか。

（4）山内ふ頭周辺地区では、どのようなまちづくりを目指していくのか。

（5）面的な整備と併せて鉄道ネットワークの充実に向け、どのように取り組んでいくのか。

（要望）一口に京浜臨海部と言っても様々な地域性がある。大黒ふ頭では、ベイブリッジを通過できない大型客船を受け入れるためのC I Q整備も進めている。このように、ものづくりや物流だけの機能ではなく、賑わい形成など、京浜臨海部のポテンシャルを活かし幅広い視点から将来を見据えたまちづくりを進めることが大切である。これまで京浜臨海部の産業振興に取り組んできた経済局と連携し、交通環境を含めたまちづくりの視点から都市整備局がしっかりと取り組むことを要望する。

3 上瀬谷通信施設跡地のまちづくりについて

（1）上瀬谷通信施設跡地利用の関連業務を都市整備局へ移管する理由について伺いたい。

（2）今後の上瀬谷通信施設跡地のまちづくりを行ううえでの課題について伺いたい。

（3）上瀬谷通信施設跡地の将来のまちづくりに向けた決意について副市長に伺い

たい。

(要望) 地権者の将来とともに、横浜の未来に向けて、この上瀬谷通信施設跡地を郊外部の新たな活性化拠点にしていかなければならない。

そのためにも、都市整備局の働きが一層求められるので、これまでのまちづくりの中で培ったノウハウを活用し、土地活用の方針と整備手法の具体的な検討を進めるとともに、着実に事業に取り組むことを要望する。

4 郊外部の民間活力を生かしたまちづくりについて

- (1) 港北箕輪町地区におけるまちづくりの意義と今後の進め方について伺いたい。
- (2) 栄上郷町猿田地区におけるまちづくりの意義と今後の進め方について伺いたい。

(要望) これから横浜のためには、民間事業者とも連携しながら地域の特性や状況に応じたきめ細かなまちづくりを着実に進めていく必要がある。

どちらのまちづくりも、地域課題を解決しながら、横浜の活性化や魅力向上に資する大変重要な計画である。今後とも、市民の意見を丁寧に聞きながら着実に取組を進めるよう要望する。

5 郊外部における市街地開発事業によるまちづくりの推進について

- (1) 金沢八景駅周辺のまちづくりについて
 - ア 平成30年度の事業内容について伺いたい。
 - イ 平成30年度事業終了にあたっての決意について伺いたい。
- (2) 新綱島駅周辺のまちづくりについて
 - ア 現時点における事業推進上の課題について伺いたい。
 - イ 綱島駅東口全体のまちづくりの考え方について伺いたい。
- (3) 今後の郊外部における市街地開発事業推進に対する考え方について副市長に伺いたい。

3 大 岩 真 善 和 委員（民進党）

1 都市計画の方針の見直し及び主要駅周辺地区のまちづくりについて

- (1) 「都市計画の方針」の改定の主な視点について伺いたい。
- (2) 「都市計画の方針」の見直しは、短い間隔で行っていくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (3) 民間事業者との連携やまちづくりの誘導の今後の具体的な取組について伺いたい。
- (4) 主要駅周辺地区のまちづくりの事業開始率を高め、スピード感をもって進めるべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 地域課題の解決をするためには、民間事業者との連携も必要である。このため、この取組について、市民や不動産などの業界団体へ周知するなど、更なる民間投資に繋がる広報活動を広く行うよう要望する。

2 郊外部のまちづくりについて

- (1) 都心臨海部や主要駅周辺中心のまちづくり予算・政策を、郊外部、特に多く住民が住む郊外住宅部のまちづくりへシフトすべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (2) 空き家転用につながる「まち普請事業」や「リノベーションスクール」など、少額で効果の高いまちづくり事業への投資を強化すべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (3) 様々な分野にわたる郊外部のまちづくりは、まちづくりに関する区の組織体制の強化、又は、かつての企画調整局のような横串を通した組織体制の構築をすべきと考えるが、見解について伺いたい。

(意見) 横串を通すような体制の確立が、郊外部に民間の投資を呼び込んでいくために不可欠である。今後、是非、検討してほしい。

3 鶴ヶ峰駅北口周辺のまちづくりについて

- (1) まちづくりを進めるにあたっての考え方について伺いたい。
- (2) まちづくりのスケジュールについて伺いたい。
- (3) 今後の検討会の進め方について伺いたい。
- (4) 民間活力の呼び込み方について伺いたい。
- (5) 利用可能となる地上の土地の価値を勘案して費用負担割合を公平に協議し、まちづくりにあたっては、鉄道事業者の相応の協力を求めるべきと考えるが、見解について伺いたい。

4 地域交通の活性化について

- (1) 地域交通の活性化に向けた都市整備局予算案の内容について伺いたい。
- (2) 地域交通の活性化に向け、予算と組織などの経営資源を積極的に配分すべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (3) 第6回東京都市圏パーソントリップ調査の概要と調査結果の活用の仕方について伺いたい。
- (4) 地域の声を真摯に受け止め、本市の立場で民間バス事業者への働きかけをもつとしっかりと行うべきと考えるが、見解について伺いたい。

5 都心臨海部における新たな交通システムについて

- (1) 連節バスを活用した新たな交通システムの導入目的について伺いたい。
- (2) 導入する連節バスのルートの考え方について伺いたい。
- (3) 連節バスの導入にあたっての課題と対応について伺いたい。
- (4) 事業採算性の確保の見通しについて伺いたい。

(意見) 交通局が健全な経営を維持しながら、市の政策実現の一躍を担っていくことが大切なので、都市整備局が総合調整役として、しっかりと役割を果たしてほしい。

6 京浜臨海部再編整備マスタープランの改定について

- (1) 研究開発機能の集積を進めていくための今後の取組について伺いたい。
- (2) A I や I o T の活用の視点での取組について伺いたい。
- (3) 京浜臨海部におけるオープンイノベーションの取組の進め方について伺いたい。

(要望) 様々な分野が連携・交流することで、新たな価値が創造されると思う。

こうしたポテンシャルがこの京浜臨海部にはあると思うので、今回伺ったような新たな取組を、しっかりとスピード感を持って進めながら、魅力的で先進性を感じられる新しい産業空間を、公民連携で創っていくことを要望する。

7 旧上瀬谷通信施設跡のまちづくりについて

- (1) 政策局基地対策課から都市整備局へ移管される業務について伺いたい。
- (2) 都市整備局へ移管後の組織体制について伺いたい。

(要望) 地権者の将来の生活設計を考えると、速やかに具体的なまちづくりに向けて動き出さなければならない。まちづくりのノウハウをもつ都市整備局に移管される強みを十分に生かしながら、まずは土地利用の基本計画を示してほしい。

この跡地は、みなとみらいよりも大きい、横浜市にとっても非常にポテンシャルのある土地であり、防災活動拠点や物流施設のほか、教育研究機関や産業集積など様々な広域機能の立地を誘導していくことも検討してほしい。横浜の郊外部の活性化拠点として先進的なまちとなるように、大きなビジョンをもち、かつ戦略的にまちづくりを進めていくことを強く要望する。

4 安 西 英 俊 委員 (公明党)

1 可動式ホーム柵の整備について

- (1) 京急線でホームドアの整備に着手されることに対する所感を伺いたい。
- (2) 京浜急行電鉄のホームドア整備にあたっての課題解決の方法について伺いたい。
- (3) 京急線横浜駅と上大岡駅の整備概要について伺いたい。
- (4) 京急線横浜駅と上大岡駅の整備見通しについて伺いたい。
- (要望) 引き続き、完成まで十分な支援をお願いしたい。

また、補助対象駅の整備促進に取り組むことに加えて、一日の乗降客数が10万人未満の駅であっても、快速特急などの停車駅は乗換も含め多くの方が利用されるので、ホームドアの整備に向けた取組を進めるよう要望する。

2 新たな交通システム導入事業（連節バス）について

- (1) 新たな交通システムの30年度予算の具体的な内容について伺いたい。
 - (2) 他都市の連節バスと比較してどのような特徴があるのか伺いたい。
 - (3) 「高度化バスシステム」を都心臨海部の回遊性向上にどのように繋げていくのか伺いたい。
- (意見) 都心臨海部の新たな魅力の一つとして、回遊性の向上に繋がり、誰にも親しまれる移動手段となるよう取組を進めることをお願いする。

3 横浜都市交通計画の改定と電気自動車活用の考え方について

- (1) 横浜都市交通計画の改定の狙いについて伺いたい。
- (2) 誰もが移動しやすい地域交通といった視点での記載内容について伺いたい。
- (3) タクシーサービスの活性化策として具体的な取組について伺いたい。
- (4) 地域の移動サービスについて、交通事業者によるサービスだけでなく、地域の方々の共助による移動サービスを拡げていくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (5) 市の交通施策全体をパッケージとして提示し、それらの中から、地域の実態

に合わせた交通施策を適用していくことが重要だと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

(6) 電気自動車の導入は、環境に対応した交通という視点だけではなく、まちづくりやエネルギー政策といった総合的な視点を持って進めることが大切だと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 交通政策は、福祉・観光・防災など様々な政策分野と密接に関係するので、分野横断的な視点をしっかりと持ちながら取り組むようお願いする。

4 まちの不燃化推進事業について

(1) まちの不燃化推進事業の30年度の取組について伺いたい。

(2) 建物の不燃化の進捗状況について伺いたい。

(3) まちの不燃化を進めるための周知・啓発の取組について伺いたい。

5 ヨコハマ市民まち普請事業について

(1) まち普請事業の最近3年間の応募件数と選考実績について伺いたい。

(2) まち普請事業の現在の課題について伺いたい。

(3) 区役所や関係局と連携し、まち普請事業をもっと広めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 多くの市民の皆様に、この事業に取り組んでいただけよう、ぜひもっとPRすることを要望する。

6 戰略的な土地利用の誘導（川和町駅周辺西地区、川向町南耕地地区）について

(1) 両事業の進捗状況について伺いたい。

(2) 両地区において、どのようなまちづくりを目指しているのかについて伺いたい。

(3) 周辺地域への影響や将来の課題解決も含め広く対処するべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 都市計画を変更して大きく土地利用を転換していくので、周辺も含めて地域の課題解決につながり、将来に渡り地域住民にとって良いまちづくりにな

ってほしい。

どちらの地区も市街化調整区域から線引きを変更して進める戦略的なまちづくりとして注目されている。今後のモデルとなるよう、しっかりと進めるよう要望する。

5 白井 正子 委員（共産党）

1 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業について

- (1) 30年度の事業及び予算の内容について伺いたい。
 - (2) 再開発事業の権利者の構成について伺いたい。
 - (3) 総事業費と補助総額及び補助金を支出する根拠について伺いたい。
 - (4) 再開発事業で整備する市の施設について伺いたい。
 - (5) 補助金額はあまりにも高額と思うが、見解を伺いたい。
 - (6) 補助金額設定のルールは一定の形式にあてはめるのか、事業の採算を見て市が判断するという動かせる裁量があるということか、見解を伺いたい。
 - (7) 市による補助を抑制できるよう、しっかり交渉すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (8) 緩和しているにも関わらず、補助することに、そもそも疑念があるが、見解を伺いたい。
 - (9) 交通広場というハードへの補助金はある程度理解できるが、グローバル企業誘致のための都心居住機能というソフト部分にも補助金を出すことが理解できない。事業者は後にビルの機能の変更する可能性があるが、そのソフト部分をどう担保するのか伺いたい。
- (要望) 民間事業という私有財産の形成にまで補助金で支援する。容積率緩和という恩典にさらに補助金という恩典で支援する。また担保がとれない不確実なソフトにまで支援する。
- 理解に苦しむので、補助金の削減に向けて是非とも頑張るよう要望する。

2 東高島駅北地区のまちづくりについて

- (1) 同地区のまちづくりにおける本市の関わり及び市が実施する事業内容について伺いたい。
- (2) 30年度の事業内容及び予算内訳について伺いたい。
- (3) 埋立て及び区画整理事業のスケジュールについて伺いたい。
- (4) 埋立事業の総額の見込みについて伺いたい。

- (5) 予算編成で作成した「事業計画書」における32年度の事業費12億円の内訳について伺いたい。
- (6) 区画整理事業の補助の総額について伺いたい。
- (7) 補助金を支出する根拠について伺いたい。
- (8) 区画整理の補助額設定のルールは、市の裁量があるのか伺いたい。
- (9) 埋立事業に係る費用を回収できるのか伺いたい。
- (10) 民間事業者に著しく巨額な利益をもたらすことに繋がるので、民間事業者にも公共施設整備にかかる費用を負担させるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 2つの事業合わせて出るお金が高額なので、市民の公益性を考え、出るお金をできるだけ抑えるよう要望する。